

昇マがらボ

Vol.05
2025.10



学会体験記 ~ SICEFES2025 in Chiang Mai ~

初めての国際学会は一言でいえば悔しい結果となりました。発表時に緊張してしまい、普段よりも原稿を読みがちになってしまい、抑揚や強調などの工夫が足りてない発表となりました。また、質疑応答では本質の部分に答えることができず自身の研究の本質を伝えることができませんでした。

ですが、他大学の発表や学生間で交流でき、非常にいい機会となりました。この経験を今後の自身の研究活動に活かすだけでなく、同期や後輩にも共有し、還元していきたいです。

大部 寛翔



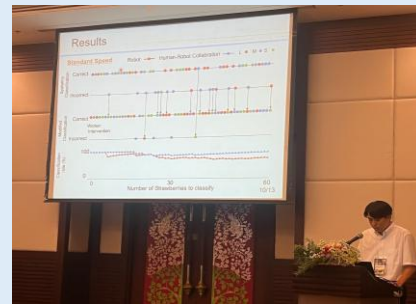
国際学会での発表はとても緊張しましたが、自身の研究についてより深く探求するよい機会となりました。日本語でさえ伝えるのが難しい発表を英語で行うにあたって、表現であったり図だったり工夫することに時間を費やしたので本番では自信をもって発表をすることが出来ました。質疑応答には課題が残りますが、満足のいく発表になったと思います。今回の経験を活かしてまた、学会にチャレンジしたいと思います。また、今回が初めての海外渡航だったのですが、無事に帰ってこれて良かったです。

小柳 達哉



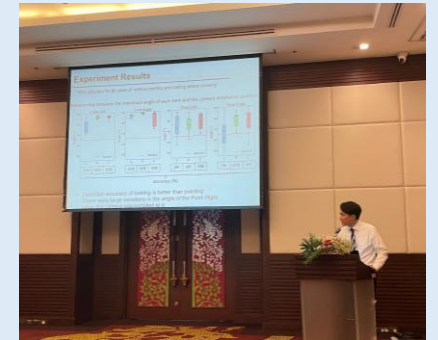
研究発表では、質疑応答の際に自分の研究内容を積極的にアピールすることの重要性を実感しました。英語での鋭い質問に対して、単に答えるだけでなく、自分の研究の独自性や意義を強調して伝えることの重要性を学びました。学会以外でも貴重な体験ができました。特に象乗り体験は印象的で、タイの文化に直接触れる素晴らしい機会となりました。象の背中から見る景色は格別で、研究で疲れた心身をリフレッシュすることができました。

寺原 雄大



国際学会に初めて参加し、とても非常に刺激的な経験になりました。自身の研究発表に対して多角的な視点からの質問や貴重なご意見をいただき、新たな課題や展望が見えてきました。英語での発表はとても緊張しましたが、この経験を今後の研究活動やキャリアに活かしていきたいです。

中川 涼之介



チェンマイ's Photos ♪



新しく研究室に加わるB3に向けた福田先生からのメッセージ

B3の皆さん、福田・YEOH研によろこそ！！皆さんと一緒に研究ができることを心から嬉しく思っています。おもしろい研究になるように研究室で一丸となって頑張りましょう。研究室の学生には耳タコですが、大学3年生までは知識のINPUT、これからはOUTPUTだと思って下さい。これまでに勉強してきた基礎力をベースに、発想力、観察力、実行力、コミュニケーション力、段取力、表現力、体力などを駆使して、より高いレベルの研究に到達できるように切磋琢磨して下さい。研究室の先輩らは本当に皆さんの良いお手本になってくれると思います。お互いにリスペクトすることを忘れずに、皆さんで楽しく沢山のことを学び合いましょう。

初めての中間発表を終えて

中間発表お疲れ様でした！まずは無事に終えることができ、ホッとしています。

この1ヶ月間、予稿の作成やスライド作りに苦労しましたが、先輩方のご協力もあり、乗り越えることができました。本当に感謝しています。今回の中間発表を通して、準備の大切さや伝える力の重要性を実感しました。今後は卒論に向けて今まで以上に頑張っていこうと思います。

中村 龍哉

今回の中間発表では、予稿やスライドについて締め切り直前まで修正が必要で大変だった。予稿作成中にモデル構築の誤りも発覚したが、なんとか本発表までに修正と再検証を行えた。普段から先輩方に相談すべきだったと反省している。添削や指導に協力いただいた先輩方に感謝し、来年以降は自分が後輩を支えたいと考えている。

本庄 詩人

編集後記

こんにちは、広報係の小柳です。

今回の表紙は国際会議で訪れたタイ・チェンマイの写真です。

初めて象のに乗りましたが、とても大きくて驚きました。象の上から見る景色は壮観でとても気持ち良かったです！

